

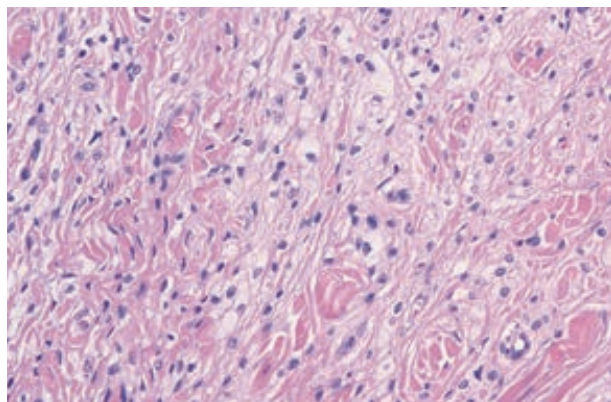


図 17.15 黄色腫 (xanthoma) の病理組織像
真皮内に脂肪滴を貪食した泡沫細胞を多数認める。

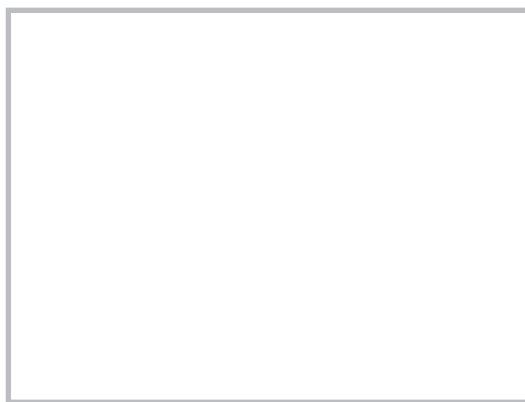


図 17.16 扁平黄色腫 (plane xanthoma)
右上腕のリンパ浮腫に続発した例。境界不明瞭な黄色局面を認める。

結節性黄色腫や眼瞼黄色腫は数か月、腱黄色腫は数年以上を要する。治療抵抗例や整容的に問題のある場合には、外科的切除も行われる。

1. 結節性黄色腫 tuberous xanthoma

肘および膝などの四肢伸側や、手足の関節部に好発する。直径 5 mm ～数 cm 大の隆起を伴う赤色～黄色調の硬い結節を生じる (図 17.14)。高コレステロール血症 (Ⅱ型) に伴う。

2. 腱黄色腫 tendon xanthoma ★

アキレス腱や手足、膝の腱が腫瘤状になる。可動域制限を伴うことがある。高コレステロール血症 (Ⅱ型) に伴う。若年性白内障や神経症状を伴う場合は、常染色体劣性遺伝疾患である脳腱黄色腫症 (cerebrotendinous xanthomatosis) の可能性を考慮する。

3. 扁平黄色腫 plane xanthoma

ほとんど盛り上がらない黄色調の変化である。Ⅲ型脂質異常症で掌紋に一致して出現することがある〔手掌線状黄色腫 (xanthoma striatum palmare)〕。高リポ蛋白血症を伴うものと、先行皮膚病変に続発するもの (図 17.16) とがある。

4. 眼瞼黄色腫 xanthelasma palpebrarum ★

扁平隆起性で主に上眼瞼の内眼角部に生じる。約半数で高コレステロール血症 (Ⅱ, Ⅲ型) を伴う (図 17.17)。

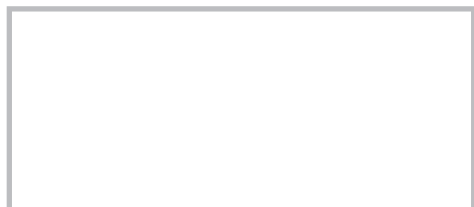


図 17.17 眼瞼黄色腫 (xanthelasma palpebrarum)
上下眼瞼の内眼角部に扁平隆起性、軽度浸潤を伴う黄色局面が散在。



図 17.18 発疹性黄色腫 (eruptive xanthoma)